

先進総合機能回復センター (リハビリテーション科を含む)

著 書

- 1 浅見豊子：下肢装具 総論. 装具学第4版第5刷 49-61. 医歯薬出版 2016.
- 2 浅見豊子：下肢装具 短下肢装具. 装具学第4版第5刷 62-84. 医歯薬出版 2016.
- 3 浅見豊子：10 運動器リハビリテーション. 下肢装具. 今日の整形外科治療指針第7版 339-340. 医学書院 2016.
- 4 浅見豊子：10 運動器リハビリテーション. 靴型装具. 今日の整形外科治療指針第7版 344-346. 医学書院 2016.

原著論文

- 1 浅見豊子, 北島昌輝, 鈴木麻未: カラー／目で見るシリーズ動画で見るリハビリテーションロボットの臨床応用の実際2. HAL. Journal of Clinical Rehabilitation 25(2):108-112, 2016.
- 2 浅見豊子: 特集／現場に活かす歩行リハビリテーション支援機器 オーバービュー. Medical Rehabilitation 194:1-4, 2016.
- 3 浅見豊子: 提言・巻頭言 ロボットリハビリテーションの意義. ハビリテーションにおけるロボットの用い方. 福祉介護テクノプラス 9(4):1-5, 2016.
- 4 浅見豊子: 特集 生活を支える下肢装具. 在宅向け短下肢装具の最近の動向. 地域リハビリテーション 11(5):311-315, 2016.
- 5 Toyoko Asami, Masaki Kitajima, Yusuke Nanri, Kazuki Murata and Taketo Sato: Case Report on Long-Term, Continuous Improvement of Walking Ability as a Result of Botulinum Toxin Injection Therapy and Low-Frequency Rehabilitation with HAL. International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 4, 339, 2016.
- 6 浅見豊子: 特集 脊椎脊髄疾患に対するロボットリハビリテーション. ロボットリハビリテーション外来と脊椎脊髄疾患. 脊椎脊髄ジャーナル 29(7):729-734, 2016.
- 7 *本多裕一, 政時大吉, 吉塚久記: 転倒セルフ・エフィカシーと身体機能の関係—要支援高齢者に対する調査—. 理学療法福岡 29号:35-39, 2016.
- 8 堀川悦夫, 小野茂伸, 琴浦健二, 南里悠介, 好川直樹, 正島隆夫, 浅見豊子, 原 英夫: 連載 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーションの技術. 第7回運転中に脳梗塞発症のプロドライバーが, 運転リハビリテーションを経て運転免許再取得と復職に至る過程からの示唆. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine, 53(7):560-563, 2016.
- 9 Takashi Kimura, Toyoko Asami: Discrimination of hie and hiesho using toe blood pressure in young women. Journal of Integrative Medicine, Volume 14, Issue 6, November 2016, Pages 436-446, 2016.
- 10 南里悠介, 浅見豊子, 竹井健夫, 徳田和彦, 阿部竜也: 現場に活かす歩行リハビリテーション支援機器 脳卒中 急性期 TOYOTA パートナーロボット. MEDICAL REHABILITATION (1346-0773) 194号, Page11-15, 2016.
- 11 南里悠介: ニューカマーリハ科専門医. JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION Vol. 25: No 7, 2016, 7, p701, 2016.
- 12 南里悠介: 学会報告 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会(第3日目). JOURNAL OF

CLINICAL REHABILITATION Vol. 25 : No 9 , 2016, 9 , p923-924, 2016.

- 13 大古場良太, 長谷川正哉, 吉塚久記, 本多裕一, 浅見豊子: 突起物による初期接地位置の教示が歩行時の下腿筋活動に及ぼす影響. 理学療法科学 31(6):911-914, 2016.
- 14 *榎 英一, 吉塚久記: 理学療法学科学生における仮想的有能感の特徴. リハビリテーション教育研究 21号:98-99, 2016.
- 15 *島袋公史, 平山史朗, 高田 稔, 渡邊英夫, 加治屋司, 今村健二, 光野七七, 市川裕貴, 藤崎拓憲, 青木三利子, 浅見豊子: プラクティカル・メモ 起立・歩行練習用組立式股装具の考案. 理学療法ジャーナル 50巻6号: pp. 613-615, 2015.
- 16 Yoshifumi Tada, Masakazu Washio, Takahiko Horiuchi, Chikako Kiyohara, Hiroki Takahashi, Gen Kobashi, Yuichiro Ide, Tatsuya Atsumi, Toyoko Asami: the Kyushu Sapporo SLE (KYSS) Study Group: Influence of Medical History in Parents or Siblings on the Development of Systemic Lupus Erythematosus among Japanese Females. International Medical Journal Vol.23, No.5, pp.466-469, 2016.
- 17 *山本裕晃, 中村朋博, 吉塚久記, 森田正治: 近赤外分光法 (NIRS) による運動負荷後の筋内酸素動態—利き足と非利き足の違いによる検討—. 理学療法科学 31巻5号: 651-654, 2016.
- 18 吉塚久記, 下條聖子, 本多裕一, 吉田亮平, 浅見豊子: 専門学校理学療法学科および作業療法学科における現役入学生と非現役入学生の学習動機に関する縦断研究. 理学療法福岡 29号: 51-54, 2016.
- 19 吉塚久記, 下條聖子, 本多裕一, 吉田亮平, 浅見豊子: 専門学校における現役入学生と非現役入学生の学習動機の特徴—理学療法学科および作業療法学科での3年間の比較研究—. 理学療法科学 31巻2号: 343-348, 2016.
- 20 吉塚久記, 横尾正博, 榎 英一, 本多裕一, 浅見豊子: 臨床実習指導者が指導しづらい理学療法評価項目は何か. リハビリテーション教育研究 21号: 280-281, 2016.

総 説

- 1 浅見豊子: ロボットスーツ HAL を用いたリハビリが平成28年度から保険収載!. 佐賀大学病院ニュース 第33号, 2016.
- 2 浅見豊子: Medical Rehabilitation 編集企画にあたって. Medical Rehabilitation 194, 前付1, 2016.
- 3 浅見豊子: 冒頭言 新専門医制度が育てるこれからのリハビリテーション科専門医. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 53(5): 346, 2016.
- 4 浅見豊子, 芳賀信彦: どうなる? 新専門医 基本領域に聞きました. リハビリテーション科, Cadetto 36(2): 24-25, 2016.
- 5 浅見豊子: 学部トピックス 医学部 リハビリ用ロボット. 佐賀大学大学案内2017, 2016.
- 6 浅見豊子: 会員の声 義歯と義肢. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 20(2): 104, 2016.
- 7 浅見豊子: 佐賀県研究会活動報告 佐賀リハビリテーション研究会活動報告. 佐賀県臨床整形外科医会会報 31: 42, 2016.
- 8 浅見豊子: 先端技術を機能回復に活かす～佐賀大学病院ロボットリハビリ外来の挑戦～. 日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会広報 18: 28-35, 2016.
- 9 浅見豊子: 特集 脳卒中後遺症の克服「ロボットリハビリテーション」. JSA News 48: 2-3, 2016.

- 10 南里悠介, 浅見豊子: 医局紹介 臨床は地域に! 研究は世界に!. Doctor's Magazine 197: 38, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Toyoko Asami: Novel therapy for stroke in women – The combined botulinum therapy and robot rehabilitation on outpatient –. the 10th ISPRM World Congress. 2016, 5, 31.
- 2 Toyoko Asami: The Effectiveness of Using Myoelectric Prostheses. The 11th Beijing International Forum on Rehabilitation. 2016, 12, 4.
- 3 *Honda Y, Masatoki D, Taniguchi A, Yoshizuka H: The relationship between the fall self-efficacy and physical body function. Asian Confederation of Physical Therapy Congress 2016. 2016, 10, 7-8.
- 4 *Masatoki D, Taniguchi A, Honda Y, Yoshizuka H: The relationship between fall self-efficacy and physical body function: A focus on gait ability. Asian Confederation of Physical Therapy Congress 2016. 2016, 10, 7-8.
- 5 Yusuke Nanri, Toyoko Asami: The effect of combination therapy (botulinum therapy, orthosis, repetitive transcranial magnetic stimulation and occupational therapy) in post-stroke outpatients with spastic upper limb hemiparesis. 10th World Congress of International Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM). 2016, 5, 31-6, 1.
- 6 *坂田亮二, 有蘭洋一, 浅見豊子, 南里悠介, 村田和樹, 田口雅也, 琴浦健二, 仙波梨沙, 嘉村 顕: Results of the “Saga University Myoelectric Arm Rental System (Saga Myo Rent System)” 「佐賀大学式筋電義手レンタルシステム」の効果. APOSM 2016. 2016, 11, 5.
- 7 Yoshizuka H, Shibata K, Iwaki A, Asami T, Kuraoka A: Anatomical variation of an angle created by Calcaneofibular ligament with long axis of the fibula. Asian Confederation of Physical Therapy Congress 2016. 2016, 10, 7-8.

国内全国規模の学会

- 1 浅見豊子: 日本リハビリテーション学会の取り組み (第6回男女共同参画委員会セッション). 第80回日本循環器学会学術集会. 2016, 3, 18.
- 2 浅見豊子: シンポジウム①リハビリテーション領域のイノベーション. 第18回日本医療マネジメント学会学術集会. 2016, 4, 22.
- 3 浅見豊子: リハビリテーションにおける人材育成と未来 – 日本リハビリテーション医学会の立場から – (合同シンポジウム). 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 9.
- 4 浅見豊子: 義肢装具分野のこれからの展開 (特別講演). 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 9.
- 5 浅見豊子: 新専門医制度の最新情報と基本領域リハビリテーション科 (教育講演). 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 11.
- 6 浅見豊子: ロボットリハビリテーションの実際. 第45回日本医療福祉設備学会. 2016, 10, 26.
- 7 *藤征 光, 田淵俊紀, 他: 佐賀県サッカー協会におけるオスグッド病調査. 27回日本臨床スポーツ医学学術集会ポスター発表. 2016, 11, 6.
- 8 古川拓馬, 東島直生, 河野俊介, 北島 将, 園畑素樹, 馬渡正明: 人工股関節全置換術後患者の歩行速度に影響を及ぼす因子の検討. 第43回日本股関節学会学術集会. 2016, 11, 4 - 5.

- 9 東 裕一, 大塚真美, 岡真一郎: 腰部骨盤帯股関節複合体の機能改善における骨盤正中化の重要性. 第84回理学療法科学学会. 2016, 9, 24.
- 10 東島直生, 浅見豊子, 南里悠介, 馬渡正明: 人工股関節全置換術後リハビリテーションにおける Honda 歩行アシストの使用経験. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 10.
- 11 北島昌輝, 浅見豊子, 鈴木麻美, 南里悠介: 脳卒中後上肢痙性麻痺に対するボツリヌス療法と ReoGo-J を用いた理学療法の併用療法について. 第7回日本ニューロリハビリテーション学会. 2016, 5, 21.
- 12 北島昌輝, 浅見豊子, 佐藤健仁, 南里悠介: 脊髄損傷患者に対する歩行補助ロボット ITRI-EXO の概要と当院の取り組み. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 10.
- 13 北島昌輝, 浅見豊子, 佐藤健仁, 村田和樹, 南里悠介: Honda 歩行アシストを用いた歩行リハビリテーションとボツリヌス療法の併用効果. 第32回日本義肢装具学会学術大会. 2016, 10, 15.
- 14 村田和樹, 佐藤健仁, 北島昌輝, 南里悠介, 山之内直也, 浅見豊子: 当院における脳卒中後上肢痙性麻痺に対するボツリヌス療法と ReoGo-J® の併用療法の現状. 第32回日本義肢装具学会学術大会. 2016, 10, 15.
- 15 *鍋島篤子, 浅見豊子: 高齢入院患者におけるインフルエンザが ADL に及ぼす影響. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 10.
- 16 南里悠介, 浅見豊子, 山之内直也: 脳卒中後上肢痙性麻痺に対する外来での BTX・装具・磁気刺激・OT 併用療法～現在までの取り組みについて～. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 11.
- 17 南里悠介, 浅見豊子, 村田和樹, 山之内直也: 脳卒中後上肢痙性麻痺に対する外来での BTX・装具・磁気刺激・OT 併用療法～現在までの取り組みについて～. 第32回日本義肢装具学会学術大会. 2016, 10, 15.
- 18 直塚博行, 白仁田秀一, 野崎忠幸, 林真一郎: 明日から実践できる包括的呼吸リハビリテーション～作業療法士に求められる役割. 日本作業療法士学会イブニングセミナー. 2016, 9, 10.
- 19 大古場良太, 長谷川正哉, 吉塚久記, 本多裕一, 浅見豊子: 突起物による初期接地位置の教示が歩行時の下腿筋活動に及ぼす影響. 第32回日本義肢装具学術大会. 2016, 10, 15-16.
- 20 佐藤健仁, 浅見豊子, 北島昌輝, 南里悠介, 雪竹基弘, 堀川悦夫: ボツリヌス療法と HAL リハの併用療法を行った多発性硬化症例における歩行能力の推移. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 10.
- 21 佐藤健仁, 浅見豊子, 南里悠介, 村田和樹, 北島昌輝: 脊髄損傷患者に対する歩行補助ロボット ITRI-EXO の概要と当院の取り組み. 第32回日本義肢装具学会学術大会. 2016, 10, 15.
- 22 *角栄 崇, 田渕俊紀, 他: Osgood-schlatter 病における脛骨粗面部の圧痛と超音波検査との関連性. 27回日本臨床スポーツ医学学術集会ポスター発表. 2016, 11, 6.
- 23 竹井健夫, 北島昌輝, 佐藤健仁, 村田和樹, 南里悠介, 浅見豊子, 徳田和彦, 斎藤聡佳: 急性期脳卒中患者に対するトヨタ歩行アシスト (Gait Exercise Assist Robot: GEAR) の試み. 第32回日本義肢装具学会学術大会. 2016, 10, 15.
- 24 *田中寿人, 笠原貴紀, 秋山菜奈絵, 浅見豊子: 運動器不安定症に対するトヨタ バランス練習アシスト (BEAR) の使用経験—第一報—. 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2016, 6, 9.

- 25 立石 洋, 平地 徹, 藤田知哲, 松島 淳, 丸尾譲二, 稲葉隆繕, 西原正志, 大塚貴輝, 今村義臣, 鍋田紘美, 前川敏彦, 溝口義人, 浅見豊子, 川島 敏: rTMSによるうつ病性障害治療中のバイオマーカー群の変化について. 第112回日本精神神経学会学術総会. 2016, 6, 4.
- 26 *横尾正博, 本多裕一, 吉塚久記: 理学療法の臨床実習における2:1モデルの実践研究—Focus Group Interviewによる質的検討—. 第29回教育研究大会・教員研修会. 2016, 8, 18-20.
- 27 吉塚久記, 柴田健太郎, 岩城 彰, 浅見豊子, 倉岡晃夫: 踵腓靭帯の腓骨下端付着部における解剖学的バリエーション. 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会. 2016, 3, 28-30.
- 28 吉塚久記, 柴田健太郎, 岩城 彰, 浅見豊子, 倉岡晃夫: 踵腓靭帯の走行角度のバリエーションに関する肉眼解剖学的研究. 第51回日本理学療法学術大会. 2016, 5, 27-29.

地方規模の学会

- 1 浅見豊子: これからのリハビリテーションにおけるロボットの位置づけ (招待講演). 第0回オール昭和リハビリテーション研究会. 2016, 1, 30.
- 2 浅見豊子: 女性医師と新専門医制度. 第6回SAGAJJOYシンポジウム. 2016, 2, 8.
- 3 浅見豊子: 新専門医制度に関わる最新情報について. 全国自治体病院協議会佐賀県支部研修会. 2016, 2, 16.
- 4 浅見豊子: リハビリテーション科専門医になるためには?. すべての医学生に知って欲しい! リハ科集中講義 IN KYUSHU リハビリテーション科専門医の仕事と魅力. 2016, 2, 28.
- 5 浅見豊子: リハビリテーションにおけるHALの活かし方. 第2回弘前医療技術イノベーションシンポジウム. 2016, 5, 1.
- 6 浅見豊子: リハビリテーションにおけるロボットの活かし方. 大阪整形外科・リハビリテーション研究会学術講演会. 2016, 6, 30.
- 7 浅見豊子: 回復期リハにおける装具(義肢)の活用と実践的処方. 日本リハビリテーション医学会回復期リハ病棟専従医師研修会(アドバンスコース). 2016, 7, 31.
- 8 浅見豊子: 運動器健診から見いだすべきこと. 佐賀市教科等研究会養護部会. 2016, 8, 30.
- 9 浅見豊子: リハビリテーション医学におけるロボットの位置づけ(特別企画). 第32回ファジィシステムシンポジウム. 2016, 9, 2.
- 10 浅見豊子: 運動器疾患に対するリハビリテーションロボットの応用(特別講演). 第12回鹿児島運動器リハビリテーション研究会. 2016, 11, 28.
- 11 江口 萌, 田淵俊紀, 他: 片脚立位時の重心動揺に対する体幹トレーニングの即時効果の検討. 第24回佐賀県理学療法士学会口述発表. 2016, 1, 31.
- 12 古川拓馬, 東島直生, 山本岳史, 船津文香, 佐藤健仁, 河野俊介, 北島 将, 園畑素樹, 馬渡正明: 人工股関節全置換術患者における筋力評価指標とBMIおよび歩行能力との関係. 第24回佐賀県理学療法士学会. 2016, 1, 31.
- 13 東 裕一, 鶴 大輔, 福盛栄一, 稲吉直哉: 上肢の可動域改善と筋力増強の基礎. 日本理学療法士協会主催 セミナー番号10232理学療法士講習会. 2016, 8, 6-7.
- 14 東 裕一, 河上淳一, 高橋 誠, 重松雄大: 下肢の可動域改善と筋力増強. 日本理学療法士協会主催 セミナー番号10292理学療法士講習会. 2016, 8, 27-28.
- 15 東 裕一, 梅田泰光, 平田靖典: 体幹機能に対する理学療法. 日本理学療法士協会主催 セミナー番号10242理学療法士講習会. 2016, 10, 22-23.

- 16 東島直生, 山本岳史, 船津文香, 佐藤健仁, 古川拓馬, 河野俊介, 北島 将, 園畑素樹, 馬渡正明 : 人工股関節全置換術後患者の股関節外転筋力は歩行速度に影響を及ぼす. 第24回佐賀県理学療法士学会. 2016, 1, 31.
- 17 南里悠介 : 第4回佐賀がんのリハビリテーション研修会. 脳腫瘍周術期のリハビリテーション. 2016, 10, 1-2.
- 18 直塚博行 : 呼吸リハビリテーション. 呼吸療法セミナー in 鳥栖. 2016, 11, 26.
- 19 直塚博行 : 人工呼吸中患者のリハビリテーション. 佐賀呼吸セミナー. 2016, 11, 27.
- 20 直塚博行, 児玉久美 : 重症呼吸不全患者に対する在宅療養へ向けた多職種連携. 佐賀県包括的呼吸リハビリテーション研究会. 2016, 11, 12.
- 21 直塚博行 : COPD 症例報告. みんなで学ぼう呼吸ケア. 2016, 10, 30.
- 22 立川千紘, 田淵俊紀, 他 : 変形性膝関節症におけるタオルギャザートレーニングとタオルピンチトレーニングの比較検討. 第24回佐賀県理学療法士学会口述発表. 2016, 1, 31.
- 23 吉原正英, 田淵俊紀, 他 : 当院における重心動揺測定 of 検者間信頼性の検討. 第24回佐賀県理学療法士学会口述発表. 2016, 1, 31.
- 24 吉塚久記, 柴田健太郎, 岩城 彰, 浅見豊子, 倉岡晃夫 : 踵腓靭帯の形態的性差に関する肉眼解剖学的研究. 日本解剖学会第72回九州支部学術集会. 2016, 10, 29.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	日本医療研究開発機構	障害者対策総合研究開発事業	現場で使用されている既存のロボットリハビリテーション機器の効果検証に関する研究	5,000
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	佐賀県健康福祉本部	支援事業	28年度佐賀県高次脳機能障害普及支援事業	8,823
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	工業技術研究院	共同研究費	歩行支援ロボットに関するトレーニングプロセスの構築	4,900